

施策評価調書

施策名	1-2-2	新たな手法による効率的な道路等の維持管理	施策を取り巻く環境変化	
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ P. 22		
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当 リーダー	都市整備担当 阿久津 径行	

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	第23位/全36項目 (効率的な道路の維持管理) -5.0%	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	第30位/全36項目 (効率的な道路の維持管理) 39.6%	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:道普請事業整備延長:(m)	22年度までの実績	計画	11,300m	12,300m	13,300m	14,300m	15,300m
	10,300m	実績					
指標2:		計画					
		実績					
指標3:		計画					
		実績					
指標4:		計画					
		実績					
指標5:		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	○道普請事業は、各年度の地域要望をもとに実施する事業であることから、要望の状況により、整備延長が一定しないことも予想されますが、地域の取り組み機運や財政状況を踏まえながら整備路線を調整し、事業推進に努めます。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当初	49,000	13,800		
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H24年度の狙い
自己評価(部)	H22 事後評価	地域住民の協働による道普請事業によって、1,110mがコンクリート舗装となりました。 また、橋梁の長寿命化を図るための計画策定のため、橋梁の簡易点検を30橋行いました。
	H24 事前評価	引き続き、道路評価システムによる道路整備が困難な路線について、地域住民との協働により道普請事業を推進していきます。また、長期的に維持コストを削減するため、橋梁の長寿命化を図る目的で27橋の簡易点検を行います。
総合評価(町長)	総合評価	施策傘下事務事業に係る個別指摘事項
	積極的に施策展開されていることを評価するが、東日本大震災復旧事業に係る財源確保(事業費・人件費ともに)のため、今後においては、所管部署としても、補助総枠の妥当性の検証や修繕計画の精査等、計画執行と財源確保のバランスを十分に検討されたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「道普請事業費」については、事業の必要性は認めるが、当初予算枠内での執行とし、予算の補正は行わないという意味合いで、「条件付継続事業」とする。 ・その他の施策傘下事務事業は、全て「継続事業」とする。